

におい・かおり環境協会賞

企画名：草木が香る、こちよさの街へ ～バス停を中心とする、新たなコミュニティゾーンの創造～

企画テーマ：①草木が香る、こちよい出会いや送迎の場の提供 ②わが街を香りでつなぐ、公園通りの形成

企画団体：財団法人 神奈川県公園協会

共同企画団体：特定非営利活動法人G I P

■ 地域イメージの向上

- 昭和30年代から団地開発が始まり、今では少子高齢化、新規住民の増加、地域コミュニティに対する意識の多様化など、新たな課題が生じています。
- その中で、3ヶ所のバス停が立地する県立保土ヶ谷公園（以下、「公園」）は各種スポーツ・文化施設に加え、都市に残された自然が満喫できる、地域住民から愛される緑の拠点です。
- 3ヶ所のバス停とその間を結ぶ道路沿いを花と香りのコミュニティゾーンとして位置づけ、公園と一体となった新たな地域特性、地域交流を創出することで、地域イメージの向上を図ります。

■ 実効性の高い取り組み

- 植栽とその維持管理については、公園の指定管理者である（財）神奈川県公園協会（以下「協会」）の植栽技術や植栽管理について専門的な技術を有する職員が当たります。
- 実施に際しては、協会と特定非営利活動法人G I P（県内の造園業関連のメンバーが主体）が毎年共催する、みどりのまちづくりシンポジウム「グリーンエンジョイ」の一環として、市民参加による植栽イベントを実施し、3ヶ所のバス停を繋ぐ道路沿いを花と香りを周辺地域へ広げるシンボルロードとします。

■ 植栽の考え方

- 花見台バス停周辺は既存の整形西洋花壇を活用し、バラを中心として芳香性のつる植物を加え、香りだけではなくこれらの豊かな色彩や質感を楽しめるよう、アーチや植物の高低差も活かした植栽を工夫します。また、一時的な花の香りだけではなく、長く楽しめる葉に香りのある植物も加えます。
- 保土ヶ谷球場前バス停周辺は、気軽に立ち寄れる香りの小路や左右対称のクレマチスのゲートにより、お迎えの気持ちを表現します。梅園側は、スロープの手すりを利用してネットを張り、漂ってくる香りを楽しめるよう法下からスイカズラを立ち上げます。
- 明神台バス停周辺は、その行き来にゆっくり香りを楽しんでもらえるよう、真冬から初夏までの香りのリレーができる樹種を植栽します。

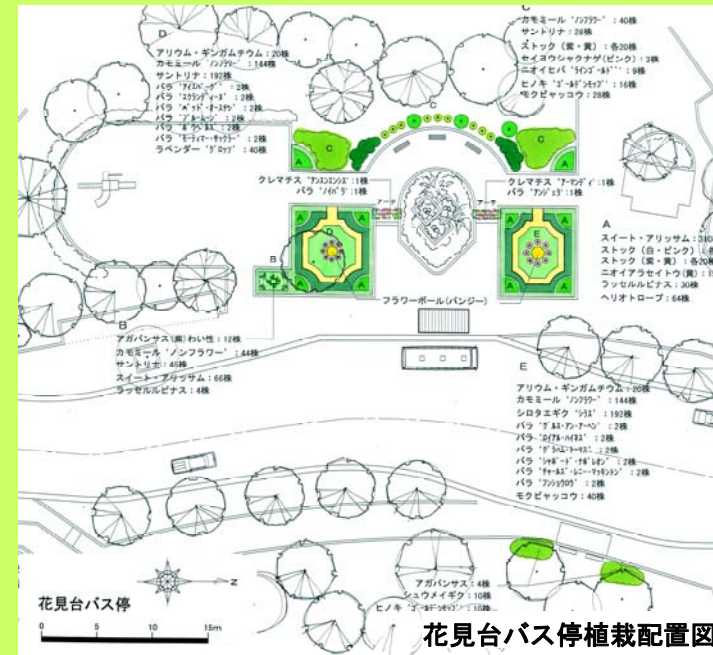
花見台バス停現状写真



大きな樹木に囲まれたバス停



バラなどの植込み地

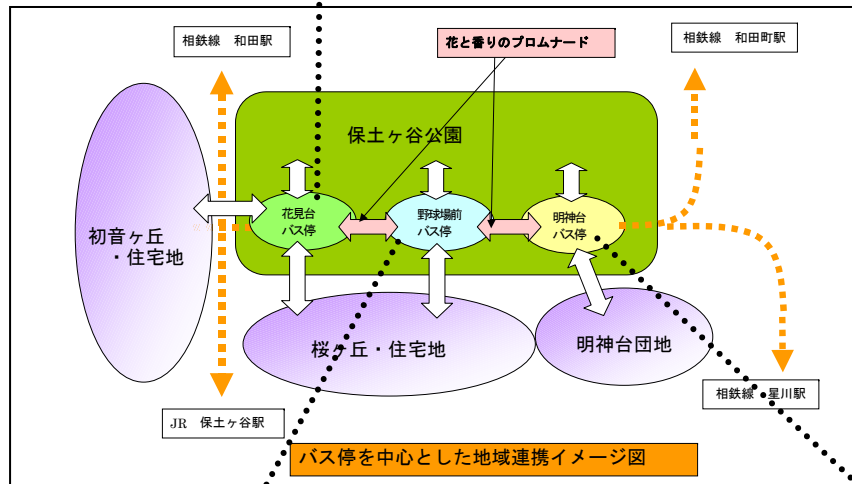


花見台バス停植栽配置図



花見台バス停成木時の鳥瞰図

～こちよい出会いや送迎の場となるバス停の形成～



バス停を中心とした地域連携イメージ図



花見台バス停成木時スケッチ-1



花見台バス停成木時スケッチ-2

■ 香り及び開花時期

使用植物	開花時期	備考
ロウバイ	12月	5種
カラネオガタマ	12月	2種
ビバーナム ムリーモルトン	12月	8種
フヨウサザラ マヨール	12月	9種
ブツシヤ	12月	9種
セイヨウシヤクナゲ	12月	3種
ジンショウウゲ(園入り)	12月	18種
ヒメツツジ	12月	9種
ヒノキ ゴールデンモップ	12月	26種
ニオイヒバ ラインゴールド	12月	14種
バラ	12月	24種
ツルバラ	12月	4種
クレマチス	12月	6種
スイカズラ	12月	4種
サントリナ	12月	425種
モクジャコウ	12月	68種
ラベンダー グロッソ	12月	50種
アガパンサス	12月	16種
カモミール ノンフラワー	12月	372種
シロタネギク シラス	12月	192種
シュウメイギク	12月	10種
ラッセル・ルピナス	12月	34種
アリウム・ギンギョアナム	12月	40種
スイートアリッサム	12月	376種
ストック	12月	120種
ニオイアラセイトウ	12月	150種
ヘリオトロープ	12月	64種
		2050種

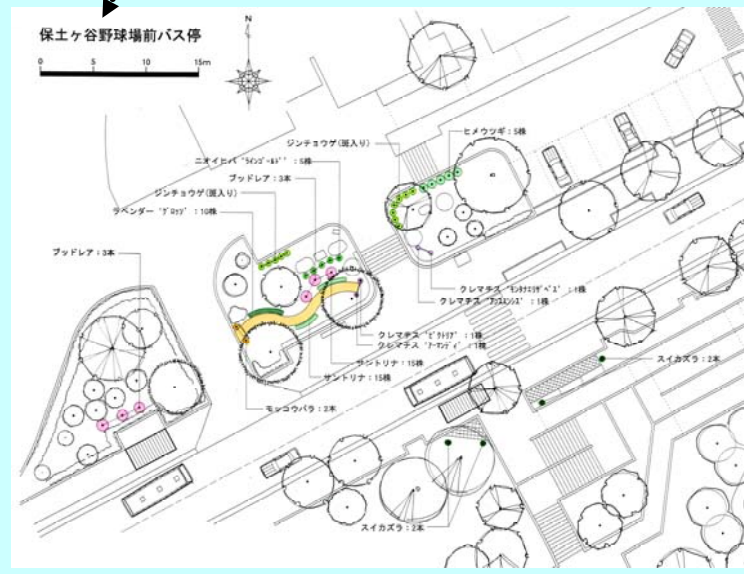
野球場前現状写真



香りの小路となる植込み地



香りの修景植込み地



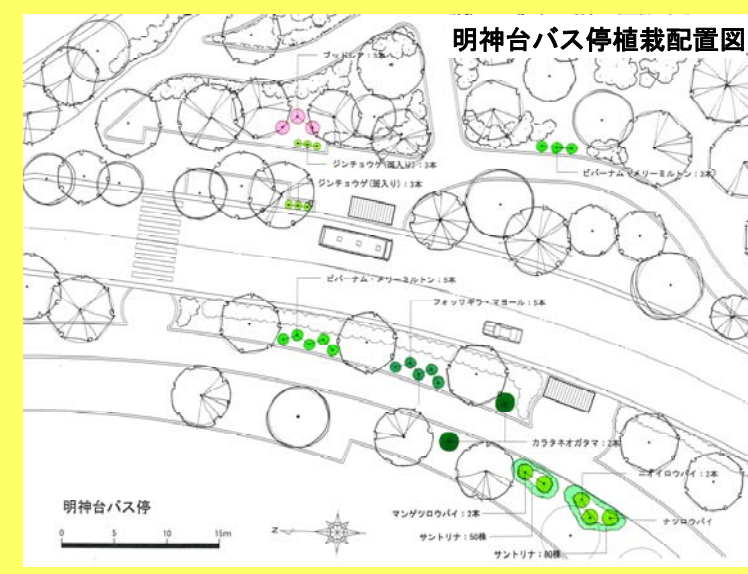
明神台バス停現状写真



香りを演出する植込み地



みどりに囲まれたバス停



明神台バス停植栽配置図